

ウッドパーク 一般公開

岡崎 三河産タイルなど展示

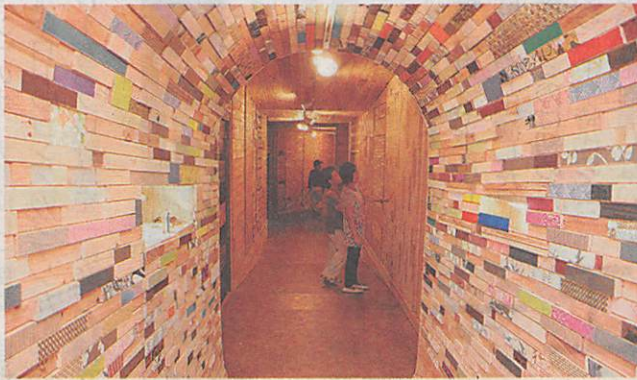
あいち
トリエンナーレ
2016

三河産の木材を使ったタイルなどの展示や販売をする岡崎市鍛冶町の「ウッドデザインパーク」が十月末の開業を前に、一般公開されている。十月二十三日まで。

パークはリフォーム業のニッカホーム(名古屋市)が地元のスギやヒノキの魅力を発信しようとして、乙川の中州約四千平方メートルの敷地で建設中。あいちトリエンナーレに合わせたパートナーシップ事業として期間中に公開する。

木製タイルの展示場

には、一般家庭の壁などに取り付けられる多彩な模様や形のタイルが飾られ、幻想的な雰囲気が漂う。展示場の外には、川沿いの遊歩道や水遊びができる池、ツリーハウスなどもある。今月一日には近所の



⑤三河産のスギやヒノキを使ったタイルが並ぶ展示場
⑥見学会に訪れた地元の住民たち。いずれも岡崎市鍛冶町で



住民向けの見学会が開かれ、約百人が参加。敷地はもともとあった高級料亭が閉鎖し、しば

茶 南山園
製造元

らく荒地地のようになっていたため、住民らは「こんなすてきに生

まれ変わったなんて」と感激していた。入場料五百円、予約が必要。④ウッドデザインパーク 052(838)9021

(森田真奈子)

間伐やジビエ料理 山里の暮らし体験 岡崎で24日

木の間伐やジビエ肉のバーベキューなど山里の暮らしの体験会が二十四日午前九時〜午後四時半、岡崎市北東部の山間地域、千代町で開かれる。小学生以上が対象で、十四日まで参加者を募っている。

市制施行百周年に合わせた市民企画「チャレンジ100」の一つ。千代町と隣の木下町の住民でつくるふるさとづくり委員会

が、山間地域の魅力を生かして、市街地の住民にも知ってもらおうと企画した。

当日は旧千代町小学校で林業関係者が雨水の保水や水質の浄化、土砂災害の防止といった森林の役割を解説した後、森の中でまき割りや間伐を体験する。昼食は五平もち作りとイノシシ肉のバーベキューを楽しむ。

委員会の荻野嘉美さんは「親子連れなどに参加してもらい、森の機能や魅力を楽しみながら感じてもらえれば」と話している。参加費千円、定員三十人程度。旧千代町小学校のホームページ(千代町楽校)で検索の申込書か、電話で申し込む。④荻野さん 090(7687)7855